



第1回
Jatco 富士山サイクルロードレース
富士クリテリウムチャンピオンシップ
～富士市道臨港富士線（通称：青葉通り）1.8km周回コース～
大会期日：2022年3月19日～3月20日

2022/3/8

Communiqué 2

競技事項/Technical Information

1（個人順位）

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

2（団体別特別表彰）

今大会のチャンピオンシップにおいては下記のとおり出場3団体別の特別表彰を行います。

1位のチームには盾を授与します。

特別表彰の順位決定方法：

JBCF・JCL・JICFそれぞれの団体の上位5名ずつの順位を合計し、合計数が最も少ない団体を上位とする。

合計数において同数がある場合、最上位者の順位が上位である団体を優位とする。

3（周回獲得、遅れ）

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。

原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は、直ちに失格とする。

認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセルの判断による。

競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

自ら棄権した選手は、その旨をフィニッシュジャッジに申告すること。

4（ニュートラリゼーション）

3団体対抗レースは認められる事故の場合、下記の通り1週のニュートラリゼーションが認められる。

・土曜日予選では最後の5周、日曜日決勝では最後の10周を除く。

その他のカテゴリのレース（交流戦を含む）ではニュートラリゼーションの適用はない。

ニュートラリゼーションの適用は、コミッセルにより認められる事故と認定された場合に限る。

器材修理は、指定されたピットにおいてのみ認められる。

5（飲食料補給） 飲食料の補給は認めない。

6（無線装置） 競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

7（ギア比）

ジュニア、ユースのギア比はJCF規則による。両カテゴリの上位3名とランダムに選ばれた選手はレース直後にギア比の点検を受けること。

・ジュニアはペダル1回転あたり前進距離7.93m以内、ユースは7.01m以内

8（自転車） 規制区域・時間外の走行時は交通ルール上、公道を走行可能な装備を義務付ける。

9（その他）

ボトル・食料の残り・包装等固形物は、ピットにてチーム同僚が回収する場合のみ地面に静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティを科す。

以上

-
- 主催：富士山サイクルロードレース実行委員会
 - 主管：（一社）静岡県自転車競技連盟
 - 後援：（公財）日本自転車競技連盟、静岡県、静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議、富士市
 - 協力：（一社）全日本実業団自転車競技連盟（JBCF）、（一社）ジャパンサイクルリーグ（JCL）、日本学生自転車競技連盟（JICF）
 - 映像協賛：（株）ジャパンサイクルリーグ
 - 協賛：ジャトコ(株)、ヨシコン(株)、(有)笠井技建、(有)森川建設、明治安田生命保険(相)、富士信用金庫、コアレックス信栄(株)、(株)静岡銀行、(株)清水銀行、ニュータウンビルサービス(株)、ウォータースタンド(株)、(株)エンチヨー、(株)マキヤ、OITA サイクルフェス実行委員会、(株)櫻井メタル、JA 富士市、(株)伊藤園、旭化成(株)、(株)キャリアドライブ、(医)富士整形外科病院、(福)誠信会、メリダジャパン(株)、(有)京昌園、(株)杏林堂薬局、トヨタユニテッド静岡(株)、井上ゴム工業(株)、井上建設(株)、昭和設計(株)、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)大瀧建築事務所